## 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

会議は、事業仕分 踏まえ、行政刷新

### 24

平成22年(2010) 4月30日発行

ついて事業仕分けが実施され なって国の四百四十九事業に 翌十二月には、「独立行政

視点で、実態を十 法人の抜本的な見直しについ 事務・事業について、 ての独立行政法人のすべての て」が閣議決定され、「すべ

直しを行う」こと 聖域なく厳格な見 とされました。 分に把握しつつ、 この閣議決定も

月下旬から行うこととなりま う事業の徹底見直しを本年四 け第二弾として、独立行政法 人及び政府系の公益法人が行

事業仕分けチーム」を設け、 事業見直しなどの省内事業仕 いては、昨年十二月、「省内 弾に先立ち、厚生労働省にお 益法人の事業の見直しや平成 ·独立行政法人·政府関連公 一十三年度概算要求に向けた 他方、この事業仕分け第二

により鳩山由起夫総理大臣 年十一月には同会議が中心と 議」が内閣府に設けられ、同 を議長とする「行政刷新会 昨年九月十八日、閣議決定 ます。 開催されています。 する公開の事業仕分けが順次 生労働省所管の法人を対象 分け」に独自に取り組んでい に、外部有識者を仕分け人と 四月十二日からは、厚

日現在、事業仕分けの日程は 事業仕分けと省内事業仕分け 未定となっています。いずれ グを受けましたが、四月二十 の事務局による事前ヒアリン みの園」は、行政刷新会議の 独立行政法人である「のぞ

> 前提とした効率化という難し 者に保健福祉サービスを提供 い問題の解答を見出すことが してのサービスの質の確保を していますので、国立施設と

うのか、などの質問が出され 地域移行の事業が一区切りつ 政法人とされる理由は何か、 そも「のぞみの園」が独立行 いた後はどのような役割を担 事前ヒアリングでは、そも

> 害者の福祉施策をめぐる種 知的障害者の支援など知的障 的な支援、認知症を発症した 障害のある知的障害者の専門 地域定着支援、自閉症や行動

の課題に取り組んでいます。

利用者、五十三名の通所利用

求められています。

矯正施設(刑務所や少年院な 移行を推進する事業のほか と考えています。 る独立行政法人とされている からこそ、国が直接に関与す また、「のぞみの園」は、地域

# のぞみの園と事業仕分け

# )役割を強く訴えた

効率性などの観点から、種々 組織と事業について、有効性、 されます。 ですが、一方で、重度の知的 る限り努力すべきことは当然 駄を省き、経費の節減にでき を実施していることから、無 交付金を財源として各種事業 入のほかに、国からの運営費 の意見が出されることが予想 「のぞみの園」は、 事業収

にしても、「のぞみの園」の

障害のある三百七十名の入所

ました。

するという役割を担っている う総合福祉施設の運営事業、 的障害者の自立を総合的に支 祉施設のレベルアップに寄与 相互に関連性を保って一体的 調査研究事業及び人材の養成 連携したモデル的な支援を行 害福祉政策に即して、 に行い、全国の知的障害者福 研修事業という三つの事業を 援するために、福祉と医療の 「のぞみの園」は、 . 重度知 国の障

ど)を退所した知的障害者の

フィールドを活用 サービスが創設さ 度による新しい 合福祉施設という れる場合には、総 しい障害者福祉制 さらに、今後新

然るべき役割を果たすことが ビスの普及と質の確保などに サービス内容の標準化やサー 効果的に組み合わせながら、 できるはずです。 研究事業や養成研修事業を して、また、調査

と考えています。 得るように努めてまいりたい 係者にも強く訴え、ご理解を 担う役割を事業仕分けの関 このような「のぞみの園.

(理事長 遠藤 浩



### 国立のぞみの園福祉セミナー2010

3月12日~13日にホテルメトロポリタン高崎に 国立のぞみの園福祉セミナー2010が開催

されました。

でいるとの事でした。 を大切にされて日々取り組 ための工夫。

す特別支援学校チーフコー 支援を学校から地域へ」につ ディネーターの出水悌二先生 による、「障害特性に応じた ての講演がありました。 宮崎県では特別支援に対し 次に、宮崎県立児湯るぴな 害)·ADHD·高機能自閉 害を持つ子の

による発達障 阿部利彦先生

外部講師による専門的指

症の捉え方について解りやす

よる、「幼児期の実践~家族 ば学園園長の諏訪利明先生に から~」についての講演があ や専門家へのサポートの視点 日目は、海老名市立わか

閉

症児の

四つのクラスに分かれ、一歳 齢に応じた支援が行われ、幼 児から、十五歳児までその年 児期を担当するという意識だ わかば学園では、年齢別に 関連の講座 コーディネー 援教育チーフ 開催、特別支

ているとの事 成果が見られ より、著しい 入れることに 積極的に取り の取り組みを ターの導入等

本人の将来性を意識してい

く→関係機関との連携を意

識する。

障害の理解に元づいたかか

わり→わかりやすく教える

会健やか輝き 沢市教育委員 でした。 続いて、 所

「苦手なことに日々チャレンジし

室支援委員の ·LDを持つ子

めの研修や自 発達障害 LDを持つ子への支援 学ぶ楽しさを感じてもらう

ている子」 · ADHDを持つ子 ADHDを持つ子への支援 エネルギーとのつきあい方を一緒 「元気印、エネルギー満載の子」 に考える

・高機能自閉症を持つ子 高機能自閉症を持つ子への支援

自分流をつらぬく、こだわりの子 友達とのつき合いを具体的に教える

を発揮できる場面が少ないと く説明して頂きました。 目立ってしまい、 者のどちらかと言えば短所が 現在の状況では、 本人らしさ 発達障害

の講演がありました。 いいところ応援計画

 $\overline{\bigcirc}$ 

 $\overline{\phantom{a}}$ 

阿部先生は、LD

(学習障



役割・地位・変化などの変化 個人が経験する、職務内容 内では、ある一定期間の中で キャリア」があります。 きました。キャリアとは、 働くことの意義について、 及ぶ生き方としてのコース: の系列です。そして、生涯に 織の中でのコース:「組織内 との意義について説明して頂 イフキャリアと役割、 講演では、人生のとらえ方と の就労における個別支援」 為信雄先生による「発達障害 「ライフキャリア」とは、人 働くこ ラ 組

ばして力を存分に発揮できる 思われます。本人の長所を伸 ような、社会の仕組みができ たら良いと思いました。

た

1

概 要

発達障害~ライフステージに

支援と理解~〉に参加.

導力向上のた

祉大学社会福祉学科教授、 最後に、神奈川県立保健福

働くことの意義とは、 うことでありました。また、 な役割の連続的な過程、とい

そして、発達障害者の人への

しい形態なのです。

就労を含む暮らし:主体 自立生活に向けた育成: 自己の意思と責任に基づ いた生活の維持。

的な社会参加の最も望ま 者の就労支援は、就労移行支 多動性障害・学習障害・アス ついて説明されました。障害 害のそれぞれの支援の仕方に ペルガー障害・広汎性発達障 支援では、自閉症・注意欠損

> るとの講演を頂き一日目は終 社会的支えの構築が大切であ 域支援ネットワークの構築、 援事業と労働施策の連携、 了致しました。 地

達障害をお持ちの方の新規受 神科外来におきましては、発 現在、のぞみの園診療所精

> 診者が増加しております。そ 多くあり、内容の濃い講演で 支援等含め、参考になる事が のような方々への理解、対応、 ありました。

### (診療所看護課看護師 三輪

### 2 概 要

発達

障害児者の社会的自立を目指して~他職種

# シンポジウム 連携、福祉・教育・医療の立場から~〉に参加して

健やか輝き室支援委員阿部利 がり、社会的自立を遅らせて りをすることが出来ずに適切 がありました。幼児期、小学 教育者としての視点から各職 彦先生からは、現場で働いて な支援が行われない事につな れてしまうと、一貫した関わ 各成長段階の情報提供が途切 めに、連携はとても重要で、 りを持った支援をしていくた と成長していく過程でつなが 校、中学校、高等学校、青年期 種との関わり方についてお話 ネーター出水悌二先生からは、 特別支援学校チーフコーディ しまっているとのことでした。 続いて、所沢市教育委員会 次に、宮崎県立児湯るぴなす

SWの立場から、他職種連携

ター園長幸田栄先生からは 鳥横浜市東部地域療育セン

初めに、

社会福祉法人青

のシステム作りについて各職

場との連携マップを作成しど

かりやすく教えて頂きました。 とのことでした。他職種と連 門家のサポートが非常に重要 安心して指導ができるシステ 携することで、現場の先生が くなってしまう事が多く、専 任の先生の負担はとても大き ていることはできないし、担 級に居て、何とかしてあげた 発達障害が疑われる生徒が学 ム作りが重要だと感じました。 いと考えても、その子だけを見 さらに、群馬県発達障害者

的な支援が必要だが支援を行 までの訓練や指導の場が必要 う機関が圧倒的に少ないのが 事でした。 ずにいるケースもあるという ないため、支援を求めない場 また本人が障害を理解してい 会性の指導を行う場もない。 で、コミュニケーションや社 が多いが、卒業してから就労 校が受け皿になっていること 大きな問題点で、修学期は学 合もあり、社会的自立が出来

た。

校、 学習の遅れ、いじめ、 現状として話しをしました。 受診の経緯では、言葉の遅れ、 現場の視点から、医療場面の 療所長より、発達障害の臨床 最後に当法人の有賀道生診 家庭内暴力、反社会的行 不登

センターの活動報告から、各 生は群馬県の発達障害者支援

支援センター所長安田淑美先

話頂きました。乳幼児期に発 ライフステージでの課題をお

> 敬一 児学童、子供たちに接する時 携していく必要性を話しまし 間の長い人たちとも今後、連 的になってしまい、十分なケ がなく療育手帳を所持出来な 的確でかつ慎重な診察が必要 変わってしまう場合もあり、 は不安を抱きながら来院して する。初めて外来を訪れる時 為などが多く、成人になるに い事、クラブの指導者、障害 であるとの事でした。他に習 育関係機関と最も連携が必要 おける他職種連携の現状は教 難しくなっています。医療に アが受けられず社会的自立が いため福祉制度の支援が限定 です。高機能例は知的に問題 います。診断で大きく人生が つれて症状、状態像も複雑化

をみんなで考え支援に繋げて がより良い環境で生活を送る 生まれ、発達障害を持った方 理解せずに協力体制が取れて ためには、何をすべきなのか いの苦労を知ることで理解が いない現状があります。お互 いますが、他職種の専門性を での専門性は高まってきては いく必要があると思いました。 医療·福祉·教育等各分野

(診療所看護課看護師

智則

とのことでした。

いる学校の先生の気持ちをわ

療育につなげるために、継続 達障害を早期発見しその後の

き機関と情報の共有化が必要

いく事につながる。連携すべ

で続ける事が連携を良くして るようにしていくことが大切 き、コーディネーターを決め

をしているのかをまとめてお のような職種と関わって仕事

会議や勉強会、継続的に続け

です。一方、量的な拡大につ れます。このプログラム開発 出来ていない状況です。質的 要な知的・精神障害者に対し が今年度の研究のひとつの柱 容のより一層の開発が求めら な面では、従業者養成研修内 量共に十分なサービス提供が されていますが、まだまだ質 上の問題ゆえに常に介護が必 な役割を担う事業として期待 て、社会参加を促進する重要 行動援護サービスは、 行動 2

名の参加がありました

三十七都道府県から百一 日程で開催しました。

運営

ラムの検討委員会の設置・

研究ならびに研修プログ

研究委員六名、

研修委員 研究

事業を実施しました。 十五名と共に(表1)、

表 1	研究・	研修委員名簿
研究	委員	
大塚	晃	上智大学総合人間科学部社会福祉学科 教授
加瀬	進	東京学芸大学特別支援科学講座 准教授
高森	裕子	株三菱総合研究所人間・生活研究本部 研究員
戸枝	陽基	(社福)むそう 理事長
福岡	寿	(社福)高水福祉会北信圏域障害者生活支援センター 所長
山口	久美	信SNOW DREAM
研修	委 員	
伊藤	寿彦	NPO法人ゆにぷろ 代表理事
井原	佳代	(社福)澄心なかまたち 副施設長
大森	寛和	(社福)つつじ 相談支援専門員
桑原	綾子	NPO法人コミュニケーションハンディキャップ研究会ライフサポートここはうす 所長
坂井	賢	(社福)新潟太陽福祉会知的障害者更生施設太陽の村 支援課長
田邊	貴仁	(社福)ゆうかり そだち支援センタースケッチ センター長
出口	平日	特定非営利活動法人ゆめじろう 理事長
中西	昌哉	(社福)世光福祉会 所長・管理者
中村	隆	(社福) 共栄福祉会ホームヘルパーステーションゆんた 管理者
長葭	康紀	岩手県発達障がい者支援センターウィズ 相談支援員
野口	幸弘	西南学院大学人間科学部社会福祉学科 教授
藤井	亘	特定非営利活動法人クローバー 事務局長
松田裕	谷次郎	滋賀県社会福祉事業団企画事業部 主査
水野	敦之	それいゆライフサポートセンター西部地域センター ディレクター
安井	愛美	サポートセンターぴっころ 代表

移動支援の関係を軸に、その

る地域において、行動援護と

活用事例と活用体制づくりの

を探りました。

【平成21年度の事業概要】

ビスを拡大する標準的な方法

方法を分析し、行動援護サー

ます。先駆的に取り組んでい

いては様々な要因が考えられ

図 1

(企画研究部

村岡

美幸

### 中央セミナー研修 初任者・現任者の受講の視点

	9:00~10:00	10:00~11:00	11:00~12:00	巫	13:00~14:00 14	:00~15:00	15:00~16:00	16:00~17:00
		「行動提護を理解する」			「行動报護の基本」〉「DVD視聴」 「行動报護の基礎」			
1日目		行動接護の果たす役割と制度の理解を 深める。			キャップハンディを通して 障害特性の理解を深め る 変殊の悪いや を存在として知る			
		新人職員向けに提 の理解を深め伝達で		18	OJTで応用して活用でき るようにする	地域の資源の あり方などを 理解する	り 障害特性シート	が活用できるよう
2日目	「行動援護の技術①」(アセスメントと億別支援計画)			T I	「行動援護の技術②」(個別支援の展開と支援技術の共有)			
	録書特性シートに基づく計画の立て方について、シートをなぞ る事で、見立ての必要性の入り口を知る。				グループ討議に参加することで、ケースについて他者の見立てに触れて、様々な とらえ方があることに気づく			
	牌書特性シートを活用しての見立てについて、自分自身の能 力について知るきっかけとする。				障害特性を見立ててヘルバーに伝えてゆくことの意味と意義を深める。			
3日目		「事例分析」	$\rightarrow$	Ý.	L	事例分析」		「研修総括」
	ロールブレイを通して、実際のサービス提供における様々な 留意事項の必要性について学ぶ。				実際にサービス上で起こる様々な他者との関わりについて 模擬体験を通して学ぶ。 まえる重要性 と学びの必要 性を把握する			
	グループ計議を通してヘルバーの動きについて、OJTで必要な内容について検疑的に学ぶ。				ロールプレイを選行させてゆく上で、サービスへの工夫を 模型的な体験をとおして、見える形で体験することで、日常 の事業運営の視野を広げる。 個別支援を チームワーク の商献すること の必要性を学			

活用され、行 祉の関係者に 多数の障害福

準の向上が図 期待しており られることを のサービス水 的な普及とそ 動援護の全国 募集しました)。 らの推薦により参加者を (本研修は、

グラムの開発

研修の実施及び研修プロ

○都道府県従業者養成研修

)行動援護従業者養成研修 福岡県で実施し

るための研修を二日間 ターのパワーアップを図 の講師・インストラク

○現行の一体的な初任者・ ました。総勢三百六名の 中央セミナーを宮城県、 方が修了されました。 京都府、

都道府県か

講の視点を意識的に分け て対応することとしまし ログラムであっても、受 現任の同時開催の研修プ うに検討しました。初任 れ別立てで実施できるよ ムを初任・現任、それぞ 現任者向け研修プログラ

た (図1)。

普及に関するヒアリング調 行動援護に関する意識調査 した。 · 利用者 な実施に関する調査研究 ための工夫や課題等につい 業所に対して、利用促進の 談支援事業所、行動援護事 査:五市の行政担当者、相 て聞き取り調査を実施しま

ついて聞き取り調査を実施 のイメージや利用意向等に しました。 (保護者) に事業

調査の結果は、報告書にま

者、さらには 等に配布する とめ都道府県 援護の関係 の紀要に掲載 ほか、当法人 します。行動

3. 行動援護の普及・効果的

NEWS LETTER 4

平成二十一年九月、生活支援部・活動支援部・地域支援援部・活動支援部・地域支援がら「暮らし、活動及び地域がら「暮らし、活動及び地域がら「暮らし、活動及び地域がら「暮らし、活動及び地域がら「暮らし、活動及び地域がら「暮らして、「自ること」を目的として、「自ること」を目的として、「自ること」を目的として、「自ること」を対象が表現しました。

アプローチができるようにな支援の検証を通じて、適切なれている事例を通した自閉症れている事のを通じない。

た。 一回の勉強会を行ってきましがら学んでいくという形で月がらかでいくという形で月

物強会の内容は、自閉症の 特性の理解を深めるため、身 近にいる自閉症の文化とはどんなか、自閉症の文化とはどんなん か、自閉症の文化とはどんなん に捉えられることをポジティ でにとらえてみたらどうか、 アセスメントの大切さ(できること・できないこと・できるいこと・できるいこと・できるいこと・できることを明らかにし、支

援員の共通理解として 適切な支援につなげる)、わたしたちの仕る)、わたしたちの仕 事はどのようなものな ためにチーム支援を考 ためにチーム支援を考

ため、頑張ってもできせんが脳の器質的な障害のためではないかといれています。そのいわれています。そのいのな質的な障がないがといれています。 原因は、

ない、苦手なことがあります。 す。他にも、耳からの情報は よっては容易に混乱してしま 例えば、コミュニケーション につながる等を学びました。 閉症の人たちの安定した生活 を作り出していくことが、自 やすくなる等、わかるやり方 な情報に置き換えれば理解し ことが難しいけれど、視覚的 抽象的なことが多く理解する 混乱を軽減することができま わり方)をしていくことで、 ば、支援員が統一した支援(関 うやって補っていくかといえ が苦手で周囲の関わり方に の障害のため、変化への適応 います。その苦手な部分をど

そこで、このプロジェクト 法人で支援に関わるすべての 人に発信することで、少しで も多くの支援員が自閉症の特 性を活かした支援をするため の手がかりになればと思い、 自閉症支援者育成プロジュク トメンバーにより、「聞いてよ、 私たちの声」と題して、活動

> 報告会を行いました。 活動報告会では、(1) 社会性の質(2)コミュニ ケーションの質(3)イマジネーションの質(3)イマジネーションの質(3)イマの特性と、(4)その他の特性についての説明の後、参加した支援員の印象に残るよう、自閉症の人と支援員の間をよく見られる作業に出かける場面と作業に出かける場面と作業に出かける場面と作業で、日常よく見られるを選び、ロールプレイを選び、ロールプレイを選び、ロールプレイ

支援員の働き掛けに対してとっていることができない自閉症の人の「心の声」をするいは関症の人の「心の声」をするに映すことで意思やできない自閉症の人の「心の声」を画面に映すことで意思や高間症理解と支援のあり方を互閉症理解と支援のあり方を互閉症理解と支援のあり方を互ました。学んだことのすべてました。学んだことのすべてもした。学んだことのすべて

易ではありませんでしたが、自閉症理解の入り口となった自閉症理解の入り口となったのではないでしょうか。
一今後も勉強会を重ね、自閉症の人が社会的な生活ができるように支援を整えるとともに、自閉症のことをより多くに、自閉症のことをより多くいと思います。

## (生活支援部第一課

主任生活支援員かわせみ寮

田口正子)

### 【表 1 】ソーシャルスキル

- · 意思決定
- · 問題解決能力
- · 創造力豊かな思考
- ・クリティカルに考えていく力
- ・効果的なコミュニケー
- 対人関係スキルー自己開示、 質問する能力、聴くこと
- · 自己意識
- · 共感性

害を引き起こす可能性が高く

支援がより困難となり

くと、うつ状態などの二次障

- 情動への対処
- ストレスへの対処

処」能力にアンバ となってくるでしょ グを行うことが必要 活用するトレーニン り、それらを理解し ランスが生じてお 感性」「情動への対 特性により、特に「対 人関係スキル」「共 人においては、 その

ます。

二次障害を予防する観

を周囲が評価できるように、 点からも、SSTによる成果

心がけていくことが大切なこ

とと思います。

造的でしかも効果ある対処の な問題や課題に、自分で、創 たい何でしょうか? 日常生活の中で出会う様々

でも重要な位置を占めるソー

今回は、様々な支援法の中

ソーシャルスキルとはいっ

う。

SST)について概説します。 (Social Skills Training:以下 シャルスキルトレーニング

できる能力」と言わ れています。具体的 1)をさすことが多 には以下の能力(表

発達障害を抱える ちになってしまったり、 ぎて被害的に物事をとらえが

れないとせっかく勇気を振り 周囲がそれを分かってあげら 囲の理解は欠かせません。本 のです。自らのソーシャルス とになります。この状態が続 孤立した感覚を持ち続けるこ なってしまいます。結果とし 絞り行動した成果が水の泡に 人がやろうと思っていても、 キルを獲得するとともに、 な場面で困ってしまっている て自尊心は低下し、社会から 様々 周

くなったり、逆に だり、想定外のこ 自らの思いや考え です。発達障害を という視点が大切 あれこれ詮索しす 方策を考えられな まうため、適切な も不安に陥ってし とが起きるととて 団生活において、 抱える人たちは集 感をもっている\_ を伝えられず悩ん は、「生活上困り S S T の 目 たのしい・うれしい かなしい

いでしょうか。 も求められていることではな き上げていくことが、現在最 に進められるような社会を築 を取り巻く周囲の理解が同時 動できる支援とともに、本人 本人が自分のことを理解し行 した。繰り返しになりますが、 の理解と支援につき概説しま 計四回にわたり、 発達障害

(診療所長 有賀

NEWS LETTER 6

### **削50障害医療セミナー**

# 認知症の理解と支援。について

と実践双方から認知症ケアに携わっておられます。イサービスセンターにて実践活動をされており、研究いて博士の学位を、またご自身が代表を務める老人デいただきました。六角先生は、認知症ケアの研究にお六角僚子先生に「認知症の理解と支援」の題目で講演去る三月十八日、NPO法人認知症ケア研究所代表

似した周辺症状があらわれて す。現在すでに、認知症に類 当法人においても認知症ケア 利用者が高齢化しているこ としている当法人にはそぐわ いる利用者もおられます。 くることが想定できるためで の知識と技術が必要になって なされていることから、今後 が選択された理由は、当法人 せん。しかし今回このテーマ ないように感じるかもしれま 重度知的障害者を支援の対象 症の人は比較的早期に認知症 祉領域においての話であり、 に罹患するという研究報告も 認知症というと、高齢者福 知的障害者、特にダウン

ます。
ます。
ます。
の理解と対応方法、地域へのの理解と対応方法、地域へのの理解と対応方法、地域へのの理解と対応方法、地域へのの理解と対応を交えて展開される。

認知症とは「いったん正常に発達した知能が、日常生に発達した知能が、日常生活、社会生活を営めない程度にまで持続的に衰退した病的状態」です。そして認知症に罹ると見られる症状に以下の中核症状があります。それは、中核症状があります。それは、中できなくなる「記憶・見ができなくなる「記憶・見ができなくなる「記憶・見ができなくなる「記憶・見ができなくなる」に、といったん正常

されており、研究 を立 でおられます。 でき でおられます。 でき でもかかわらず、目的をもっ ケアにもかかわらず、目的をもっ ケアにもかかわらず、目的をもっ ケアにもかかわらず、目的をもっ ケアにもかかわらず、目的をもっ ケアにもがかわらず、目的をもっ ケアにもがかわらず、目的をもっ たけ



たことや言葉の語尾をオウムたことや言葉の語尾をオウムたことや言葉の語尾をオウムなくなったり、計画や段取りを立てられない、状況を判断を立てられない、状況を判断できなくなる「実行機能障害」です。そしてこれらの中核症です。そしてこれらの中核症です。そしてこれらの中核症ががわゆる周辺症状(昼夜状がいわゆる周辺症状(昼夜状がいわゆる周辺症状(昼夜大がいわゆる周辺症状(最大、不眠、妄想、幻覚、不穏、神徊、帰宅願望、異食、暴力、ケアの拒否、放尿、弄便、等)を引き起こします。

因となったりします。因となったりします。。このような認知症の周辺症で、以前とは違って見えたりが、以前とは違って見えたりが、以前とは違って見えたりが、以前とは違って見えたりが、以前とは違って見えたりすることで不安に関こえたりすることで不安になり、その不安がケアの拒否なり、その不安がケアの拒否なり、その不安がケアの拒否なり、その不安がケアの拒否なり、その不安がします。

ます。それを周囲が突然抑止意味をなしていることもありても、その人の世界の中では解に苦しむ行為であったとし解に苦しむ行為であったとし

六角先生のデイ

したとしたら、やみくもに周りから止められたと本人は怒ったり戸惑ったりするのは当然といえます。したがって、認知症ケアは本人の行動で言動に対して否定的にかかわることはしないことが基本わることはしないことが基本です。

以上が講演内容の要旨ですが、総じて言えることは、まが、総じて言えることは、まず認知症の特性をよく知ること、そしてその人がこれまで生きてきた世界、持っていた価値観、ものの見方等を知り、価値観、ものの見方等を知り、おいては非常に重要であることです。

知的障害者と認知症の関係については、欧米諸国においては研究が進められていますが、日本においてはまだあまり手のつけられていない分野といえます。ただ今後知的障害の領域での高齢化が確実であるため、知的障害者と認知あるため、知的障害者と認知が、日本についての研究が必要となっていることを確信しております。今回の研修から得たります。今回の研修から得たても知的障害者の高齢化問題についてさらに議論を深めても知り障害者の高齢化問題についてさらに議論を深めていることを確信しております。

## (企画研究部研究課

木下 大生



ケアホ

ム開設から三年を

たため、 災通報装置、スプリンクラー 設備(自動火災報知設備や火 **局くなることなどが予測され** また、今後障害程度区分も の整備も急務となりま 消防法の定める消防

方や、 者が、 均年齢が六十歳)や身体機能 設備が整い、 リアフリーで浴室やトイレの な方たちであることから、 の低下により、現行賃貸物件 での生活が難しくなってきた さらに今後の入居予定 より支援や介護が必要 入居者の高齢化 一階に居室が五 バ ホーム

平成19年3月、群馬県の認可を受け て当法人直営のケアホーム『おおいし』 (2階建て1軒屋)が高崎市石原町に定 員5人、男性2人、女性3人の入居者で スタートしました。平成20年4月には 高崎市八千代町にケアホーム『やちよ』 (アパート)を、さらに平成21年2月、 同じ八千代町にケアホーム『さくら』(2 階建て1軒家)をオープンしました。

当初5人の定員でスタートしたケア ホームも、当法人からの地域移行者の他、 高崎市内から2人の方の入居を受入れ、 定員も16人に増えました。

きる入居者構成)

(2)多機能化

(共同生活での助け合

n

らの課題の

中

ケア

地域における居宅サービス

サービスの展開(日中活動や の出入りを避ける)(3様々な は避ける(不特定多数の外部

(4)支援体制の充実(ヘルパー



今回の新ケアホー

A

移転に際してのコンセ

(1)入居対象者

外出身者一人)も加わり、 ら七人(三ホームの定員は、 住民の方や地域の方をお招き および消防設備の整備を行 を見つけることができ、 リアフリー、 人から地域移行した三人 十六人)となり、新たに当法 移転することができました。 新ケアホーム『おおいし』へ して内覧会を開催し、無事に 五分程の場所に平屋作りでバ 人の方の新しい生活が始まり 移転に際し、 本年三月二十五日に周辺 『おおいし』から徒歩 9LDKの建物 定員も五人か 改修

能な設備整備や、

支援体制を

今回、介護対象者も生活 が上げられました。

建物が必要となりました。 部屋から七部屋を確保できる

(地域支援部 地域生活支援係長

と思われます

が地域での生活が可能になる たことにより、より多くの方 確保したケアホームに移転し

地域支援課

湯浅

智代

【発行】

### 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

る

くにあり地域生活を楽し

エンスストア、

銀行などが近

利便性、スーパーやコンビニ

密着型

(公共交通機関利用

群馬県高崎市寺尾町2120番地 2 TEL 027-325-1501 (代表) FAX 027-327-7628 (代表) ホームページ http://www.nozomi.go.jp Eメール webmaster@nozomi.go.jp

等の有資格者の配置)(5地域

ュースレター関係連絡先】

TEL 027-320-1322 (企画研究部) FAX 027-320-1368 (直通) Eメール info\_center@nozomi.go.jp

SOYINK **127**0